


認知科学会 WS6 オノマトペと音象徴

2010/09/19

17:30-19:00

@神戸大学国際文化学部 K403





オノマトペ・音象徴とは

- オノマトペ(onomatopoeia/mimetics)
 - 擬音語・擬態語・擬情語などの総称
- 音象徴(sound symbolism)
 - 音声そのものが、特定のイメージとある程度必然的な関係にある（おんしょうちょう・おとしょうちょう）
- 類像性(iconicity)
 - 指示対象と指示する語が類似している（るいぞうせい・るいしょうせい）



今までの研究（オノマトペ）

- 前世紀の記述的研究：特殊性の探究
 - 語彙・形態・音韻・音象徴
 - 小林(1933), 泉(1976), Hamano (1986/1998),
 - 笥・田守(1993), 田守・スコウラップ(1999)
 - 意味：
 - Kita (1997)
 - 生理心理：
 - Osaka & Osaka
 - 言語習得：
 - Imai et al. (2008)



今までの研究（オノマトペ）

■ 近年の理論言語学：非特殊性の指摘

□ 統語・意味

- Tsujimura (2005, etc.), Kageyama (2007)

□ 音韻

- 那須(2002, etc.)

□ 談話語用論

- Baba (2003)

(非特殊性≡一般理論とのcompatibility)



今までの研究（音象徴）

■ 心理学

- Sapir(1929)のmal/mil実験
- Köhler(1929, 1947)のm(b)aluma/takete実験
- Ramachandran&Hubbard(2001)のbouba/kiki実験
- 言語普遍性に注目



現在関わっている学問領域

- 言語学（意味論・音韻論）
- 心理学（認知心理学・発達心理学）
- 工学（音響工学）
- 脳科学
- 文化人類学
- 文学



企画趣旨

- 「音象徴の普遍性と、オノマトペの特殊性・非特殊性」をテーマに話題提供
- 多角的にオノマトペ・音象徴を眺める
 - 各分野で得られている知見を整理・概観
- 特殊性・非特殊性（普遍性）の共存性／連続性



オノマトペと音象徴

■ 音象徴：

- 言語普遍性
- 言語個別性

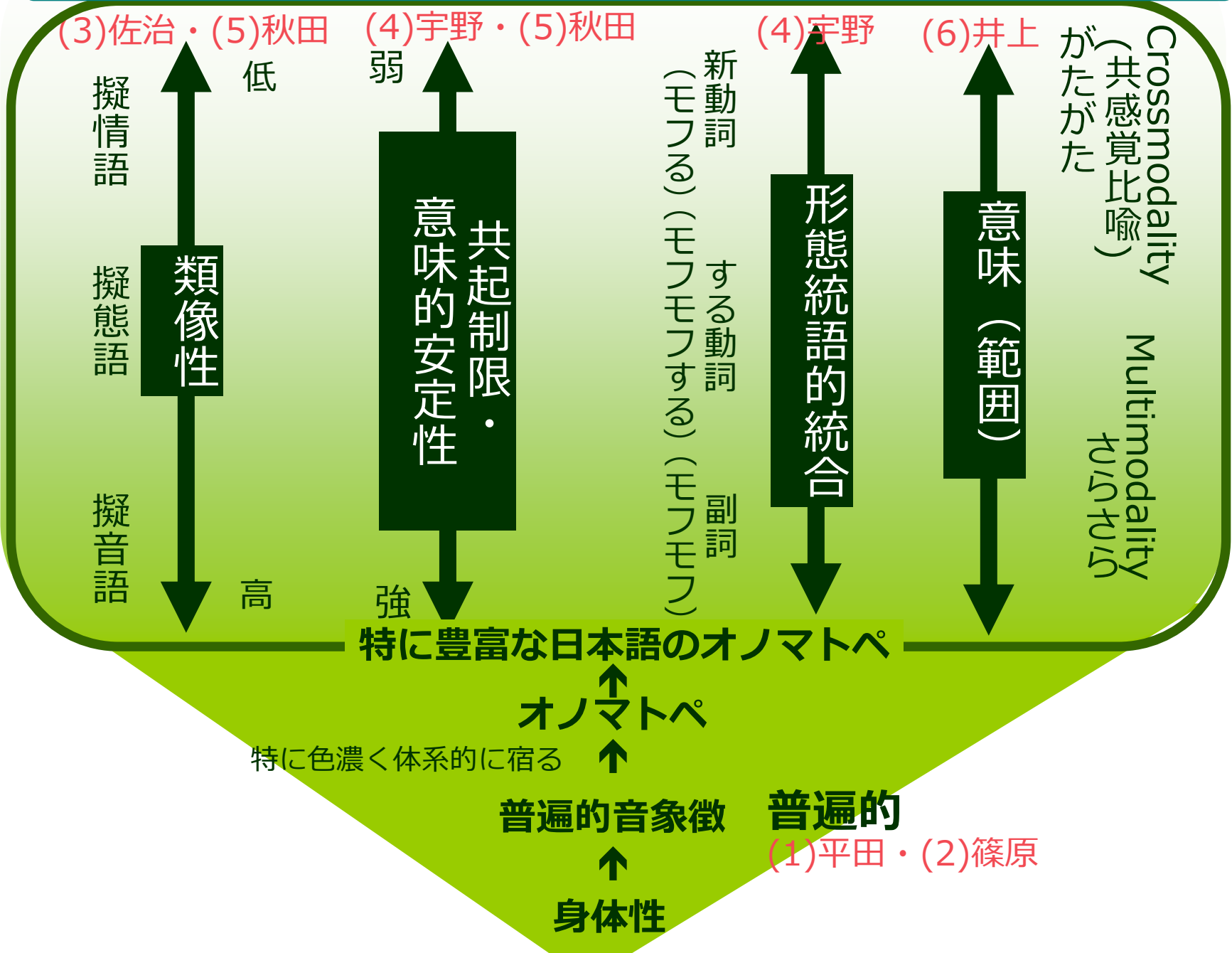
■ オノマトペ

- 特殊性：語類としての逸脱性
 - いかにも「語らしくない」か
- 非特殊性：語類としての規範性
 - いかにも「語らしい」か

一般語（恣意的）

非特殊

特殊





アンケートのお願い

- 議論の時間が少なくなることが予想されます
- アンケートへのご記入をお願いいたします。
- 後日各スピーカーよりWeb上(onotomo@wiki)で回答を頂きます。

- onotomo@wiki
 - <http://www23.atwiki.jp/onotomo/>

話題提供者・指定討論者

1. 平田佐智子（神戸大学）
2. 篠原和子（東京農工大学）
3. 佐治伸郎（慶應義塾大学）
4. 宇野良子（東京農工大学）
5. 秋田喜美（JSPS）
6. 井上加寿子（関西国際大学）

- 今井むつみ（慶應義塾大学）：指定討論

心理・実験



言語・理論